

第19回御所市地域公共交通会議

議事報告

日 時 平成29年7月18日(火) 13時30分～

場 所 御所市役所 本館3階会議室

1. 開会

- ・北岡会長あいさつ
- ・委員の変更報告

西日本旅客鉄道(株) 近畿統括本部 大阪支社 総務企画課長 長澤卓夫 委員

奈良交通(株) 乗合事業部 部長 後藤秀雄 委員

公益社団法人 奈良県バス協会 専務理事 山口勝彦 委員

御所市観光協会 会長 川田清治 委員

国土交通省 近畿運輸局 奈良運輸支局 支局長 米田一彦 委員

奈良県 高田土木事務所 所長 西岡純一郎 委員

以上の6人の委員の変更報告を事務局が行った。

2. 案件

(1) 平成28年度事業報告・決算報告、監査報告について(資料1・資料2・資料3)

- ・決算報告で歳出の事業費が予算額と決算額の差がありますが、何か要因があるのか。

→平成28年度は平成27年度に比べて、臨時観光バスを実施した日が少なかったことが主な原因だと考えられる。

- ・臨時観光バスの業者はどのように選定したのか。

→安全な旅客輸送サービスを行う上で、信頼と実績を鑑み、御所市物品購入及び業務委託等に係る入札及び契約事務取扱要綱第5条第1項第3項の特殊もしくは専門的分野に該当するため随意契約で行っている。

- ・平成28年度の決算報告で、市からの補助金+運賃収入から預金利息を引いたものが事業費になると思うが、臨時バスが一般乗合事業であれば、運賃を収受するのは運行事業者であり、また、足りない分は事業費として支払うべきで、事業費は3,532,014円で計上になると思うので検討して下さいとの意見があった。

→質問の後、承認された。また、監査報告についても承認された。

(2) 平成29年度事業計画案・予算案について(資料4・資料5)

- ・上記の指摘のとおり、平成29年度の予算(案)の諸収入の運賃収入は削除していただきたいとの指摘があった。

- ・資料4に平成30年1月と3月に生活交通ネットワークのあり方について会議が行われることから、今後の交通のあり方について活発な議論が行われることを期待していますとの意見があった。

- ・交通弱者の交通手段の確保が地域公共交通会議の趣旨であるので、鉄道、バス、タクシー等のあり方を複合的に利用者の需要と供給を予備費を使って調査を行うなどし、公共交通会議で議論していただきたいとの意見が述べられた。
- 資料4のとおり、2回会議を予定しているが、コミュニティバスの再編を含め、広域的な交通のあり方の見直しを検討しており、県の補助を受けながら、市の事業として調査を行い、その結果を地域公共交通会議に諮ろうと考えているということを事務局から述べさせていただいた。
- ・高齢者の移動手段確保について今年の6月30日に国土交通省がとりまとめの中で、福祉行政との連携が具体的な方策として挙げられていて、特に要支援の方の交通確保をどうするかを検討していただきたいとの意見が出された。
- ・平成29年度の予算（案）の事業費は運行日数の関係で前年度と同じ予算なのか。
- 運行日数が昨年と比べて今年は1日少ないので、そこを加味して前年度予算と同様の額を予算額にしている。
- 質問の後、承認された。

(3) 臨時観光バス運行事業について（資料6）

- ・市ではなく地域公共交通会議が主体となって運行しているのはなぜか。
- もともと臨時観光バスは近鉄御所駅から山麓線を通り、五條市まで繋ぐ広域連携バスとして運行が始まり、広域連携バスが終了した後、秋の行楽シーズンに山麓線沿いに向かう交通手段確保のために観光バスとして定着したという経緯があった。また、観光協会や、鉄道、バス、タクシーなどとの官民連携と交通・観光という異なる政策分野の事業、異なる専門分野の立場から効果検証を行っていく必要があるため、地域公共交通会議が主体となって運行を行っている。
- 質問のあと、承認された。

(4) その他

- ・3月に御所中心市街地地区まちづくり基本構想を策定したが、地域公共交通会議の場でまちづくりと公共交通の連携で何かを行う予定や方針はあるのか教えていただきたい。
- 以前、地域公共交通会議の場で近鉄御所駅前広場の件で協議していただいたのと同様に、随時、中心市街地の開発・整備について地域公共交通会議の場で議論していただきたいと思っており、進捗状況によるがある程度プランを示す時期がきたら今年度か遅くて来年度にご協議いただきたいと考えている。

3. 閉会

すべての議事が終了し、閉会した。